

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要

学校名	千葉県夷隅郡夷隅町立国吉中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	3	2	10	24
生徒数	87	74	91	3	255	

II 研究の概要

1. 研究主題

- 一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に習得し、
- 個に応じた「確かな学力」の向上を目指す生徒の育成
- 教材の開発と指導方法の工夫・改善 —

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年：必修教科，選択教科，総合的な学習の時間

* 上記の3つを柱として「確かな学力の向上」と「生きる力」の育成を図るため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>○テーマ</p> <p>一人一人が基礎的，基本的な内容を確実に習得し，</p> <p>個に応じた「確かな学力」の向上を目指す生徒の育成</p> <p>— 教材の開発と指導方法の工夫・改善 —</p> <p>○仮説</p> <p>① 各教科・領域の学習において，基礎的・基本的な学習の時間の学習内容を明確にすると共に体験的・課題解決的な学習をおこなうことにより，自ら学び，考え，解決する力が身につくであろう。</p> <p>② 少人数授業・TT授業・選択授業等において，ひとり一人の個性に応じた個々の力を伸ばすことにより「確かな学力」の向上がはかれるであろう。</p> <p>③ ①②に加え，総合的な学習の時間の工夫と評価を生かした学習過程や幅広い教材開等により特色ある学校作りに貢献できるであろう。</p> <p>○研究内容・方法</p> <p>◇ 個に応じた指導方法の工夫。（きめ細かな指導を目指して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科・英語科・数学科における少人数・TT授業の実施。 ・選択学習におけるコースの設定と内容の工夫。
--------	--

平成 14 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習の時間における基礎的・基本的な学習内容の検討と習熟。 ・基礎的・基本的な学習内容の明確化と習熟の場（全校体制での朝自習の時間の工夫・補足的な学習の時間・学習習慣形成と家庭学習の充実など）の確保。 ◇ 評価を生かした学習過程と教材開発。（評価規準・評価方法等明確に） ◇ 総合的な学習の時間における生きる力や学び方の学習。 ◇ 地域社会の協力と特色ある学校づくりの推進。
----------------	--

平成 15 年度	<p>○テーマ</p> <p style="text-align: center;">一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に習得し、 個に応じた「確かな学力」の向上を目指す生徒の育成 — 教材の開発と指導方法の工夫・改善 —</p> <p>○仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習において、「基礎的・基本的な学習内容」を明確にすると共に体験的・課題解決的な学習を行うことにより、自ら学び、考え、解決する力が身につくであろう。 ・少人数授業・TT授業・選択授業等において、一人一人の個性に応じた力を伸ばすことにより「確かな学力」の向上が図れるであろう。 ・総合的な学習の時間での、評価を生かした学習過程や幅広い教材開発により、豊かな心や生きる力を育むことができるであろう。 <p>○研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習の時間における基礎的・基本的な学習内容の検討と習熟。 ・基礎的・基本的な学習内容の明確化と習熟の場の確保。（各教科・朝の読書の時間・フロンティアタイム・学習習慣形成と家庭学習の充実など） ・学力に関する生徒・保護者の実態調査と分析。 ◇ 個に応じた指導方法の工夫。（きめ細かな指導を目指して） ・国語科・数学科・英語科における少人数授業，TT 授業の実施。 ・選択学習におけるコースの設定と内容の工夫。 ◇ 総合的な学習の時間における生きる力や学び方の学習。 ◇ 地域社会の協力と特色ある学校づくりの推進。
----------------	--

平成
16
年度

○テーマ

一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に習得し、
個に応じた「確かな学力」の向上を目指す生徒の育成
— 教材の開発と指導方法の工夫・改善 —

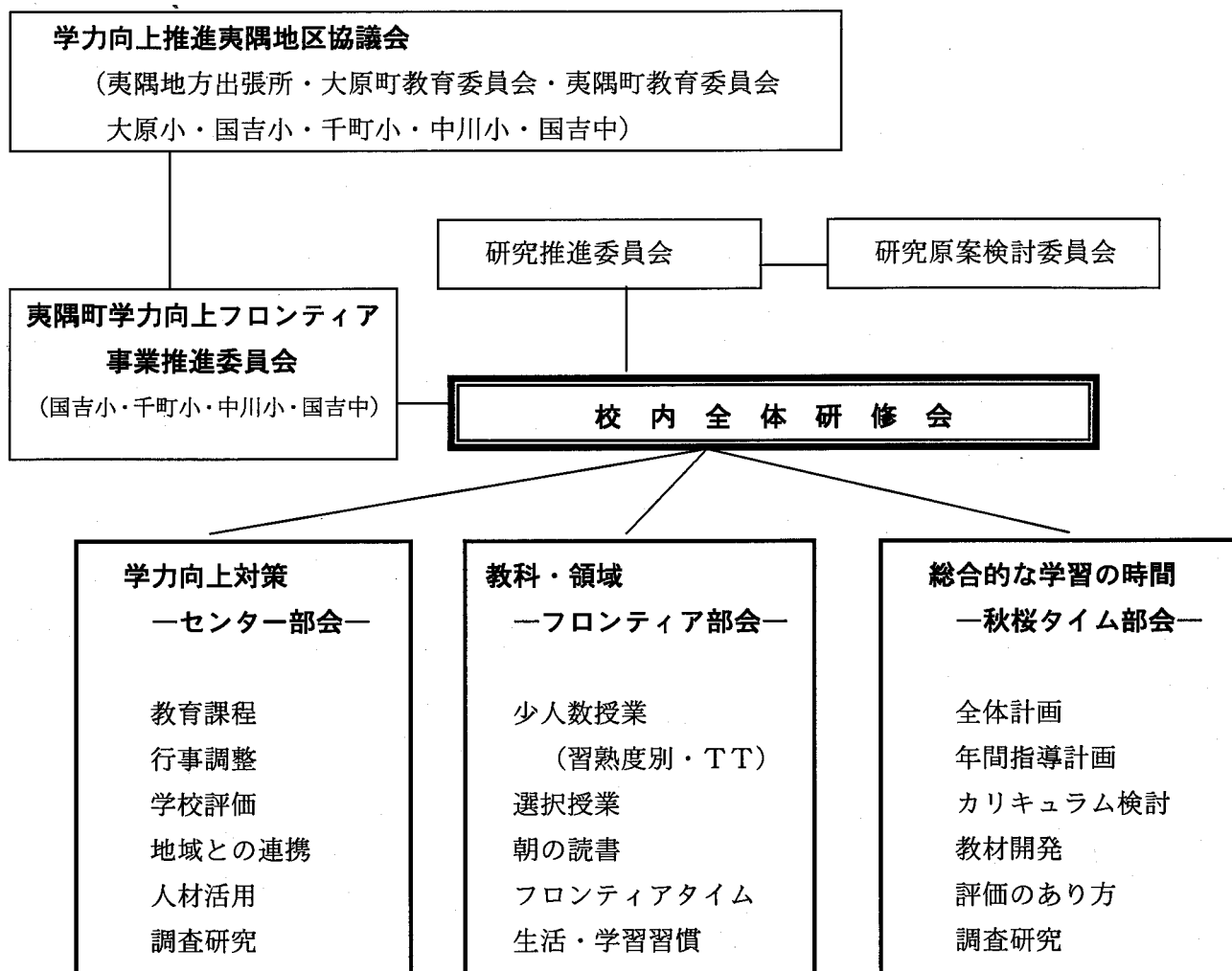
○仮説

- ・教科の学習において、「基礎的・基本的な学習内容」を明確にすると共に体験的・課題解決的な学習を行うことにより、自ら学び、考え、解決する力が身につくであろう。
- ・少人数授業・TT授業・選択授業等において、一人一人の個性に応じた力を伸ばすことにより「確かな学力」の向上が図れるであろう。
- ・総合的な学習の時間での、評価を生かした学習過程や幅広い教材開発により、豊かな心や生きる力を育むことができるであろう。

○研究内容・方法

- ◇ 学習の時間における基礎的・基本的な学習内容の検討と習熟。
 - ・基礎的基本的な学習内容の明確化と習熟の場の確保。(各教科・朝の読書の時間・フロンティアタイム・学習習慣形成と家庭学習の充実など)
 - ・学力に関する生徒・保護者の実態調査と分析の継続。
- ◇ 個に応じた指導方法の工夫 (きめ細かな指導を目指して)
 - ・国語科・数学科・英語科における習熟度別少人数授業、TT 授業の工夫。
 - ・習熟度別少人数授業における年間計画等の作成。
 - ・「補充的な学習」「発展的な学習」の教材開発と指導方法の工夫・改善。
 - ・選択学習におけるコースの設定と学習内容の工夫・改善。
 - ・評価を生かした学習過程と教材開発。
- ◇ 総合的な学習の時間における生きる力や学び方の学習。
- ◇ 地域社会の協力と特色ある学校づくりの推進。

(3) 研究推進体制



<地域としての改善点>

- ・昨年までの研究の過程において地域との連携を強く感じていたところ、平成15年度に町内3小学校が「学力向上フロンティアスクール」の指定を受け、「夷隅町学力向上フロンティア事業推進委員会」を発足させた。
- ・「夷隅町学力向上フロンティア事業推進委員会」での検討を経て、「フロンティアタイム」「朝の読書」など、小中が連携した町全体の取り組みができるようになった。
- ・「学力向上推進夷隅地区協議会」を開催したことで、夷隅地区の研究の共有化を図ることができた。

<学校としての工夫・改善点>

- ・昨年度は「学力対策委員会」「道徳・特別活動」「総合的な学習の時間」の部会を設置したが、職員の所属や3部会の役割・目的等が明確ではなく、組織として機能することが難しい状況であった。本年度は「センター部会」「フロンティア部会」「秋桜タイム部会（総合的な学習の時間部会）」を設置した。全職員がいずれかの部会に所属し、部会責任者を中心に活動することにより、教科部会と研究組織を両立させながら、研究推進がスムーズに行われるようになった。

Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

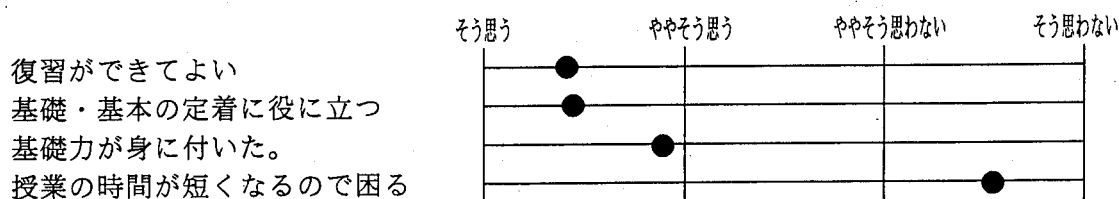
基礎・基本の定着について

【数学科での実践】

- ・百ます計算や基礎確認ドリルを行うことには多くの生徒が賛成で、ドリルにより計算力が向上し、基礎・基本が定着してきたと評価しており、進んで取り組もうという意欲がみられるようになった。

《アンケート結果より》

＜計算ドリルについてどう思いますか＞（1年わかば、2年ふたば・わかば・みのり、3年全コース）



【英語科での実践】

- ・毎時間の授業の初めにウォームアップの時間を設けて既習事項の復習をすることで、生徒は1日1ページノートを活用して家庭学習に進んで取り組み、確認テスト（小テスト）での達成率がよくなり、基礎・基本が定着してきている。

1年生チャレンジコース：ライティングテストの工夫

1年生のチャレンジコースでは、1パート学習後に教科書全文のライティングテスト（暗写）を実施している。従来の単語テストでは目標が低いため、家庭学習の必要性を感じない生徒の実態があるからだ。また本校ではパートごとの暗唱が共通課題となっているため、暗写の活動にもスムーズに取り組めると考えた。ただし、どの生徒にも取り組みやすくするためにテスト後半にはCD

1年 PRPROGRAM 8	
ライティングテスト平均達成率	
パート 1	95.5
パート 2	93.7
パート 3	94.8

を流して、ディクテーションテストを組み合わせ形式としている。その結果、初めはこのテストを高すぎる目標と感じていた生徒たちも、家庭学習をしてテストに臨む習慣がついてきて、満足できる結果を得ている。また、集団としての達成率もよい。

2年生スタンダードコース：単語テストの工夫

2年生のスタンダードクラスでは、1パート学習後、次の授業で単語テストを実施している。単語を読むことさえ難しいと感じている生徒たちに達成感や満足感を持たせるために、初めは取り組みやすく継続性があり、次第に高い目標が持てるような方法を工夫した。

[1学期の方法]

教師の発音する英単語を聞いて、単語の意味を書く。

[2学期からの方法]

教師の発音する英単語を聞いて、単語の意味を書く。
覚えている人は単語のスペルも書く。

(書けた単語の数はプラス点とする。)

- ・1学期は意味を覚えればよいテストということで、少しの学習でも取り組みやすく、満足する結果を得る生徒がしだいに多くなった。また2学期からの方法をとるようになって、自主的に単語を書く練習をしてくる生徒が増えた。その結果、多くの生徒が満点以上の得点をとることができ、成就感を得て次の学習への意欲につながっている。

基礎・基本を支える時間

【「フロンティアタイム」における実践】

- ・木曜日の6校時に設定したフロンティアタイム（基礎・基本の定着のためのドリルの時間）は「役に立つ」「自分のためになる」と感じている生徒が増え、この時間の意義が生徒の意識の中に浸透しつつある。

《アンケート結果より》

<フロンティアタイムはあなたの学習に役立っていますか>

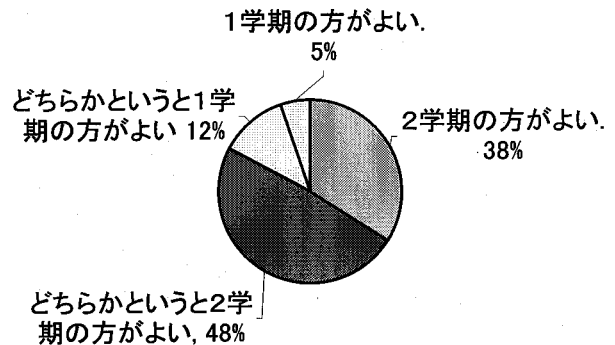
項目：学期	1学期	2学期
大いに、まあまあ役立っている	59%	71%
あまり、全く役立っていない	12%	9%

<フロンティアタイムについてどう思いますか>

項目：学期	1学期	2学期
自分のためになる	37%	67%
面倒だ	49%	24%
基本ばかりでつまらない・飽きる	14%	9%

- ・2学期は1学期の反省を受けて教科ごとの教師用マニュアルを作成して学習の流れを明確にし、どのクラスも同一歩調が取れるようにした。また確認テストの結果によってその後の学習内容をコース別に分けた。（国語・英語は課題別、数学は習熟度別）その結果、「2学期のフロンティアタイムのほうがよりよい」と評価した生徒が多かった。
- ・フロンティアタイムの日には休み時間等を使って学習する生徒が増え、課題に進んで取り組もうという意欲がでてきた。

1学期と2学期の比較



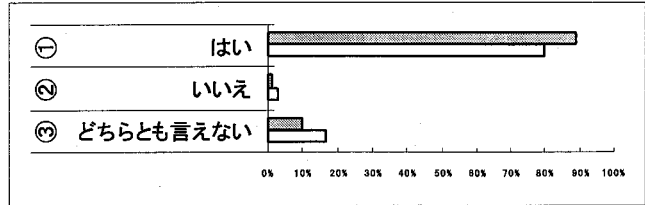
【「朝の読書」の実践】

- ・ 4月から12月までに生徒1人が読んだ本は平均で9.3冊である。最も多い生徒は70冊以上の本を読破した。
- ・ 読書が「自分にとってよいことだ、読書は楽しい」と感じている生徒が増え、読書の効果を多くの生徒が認識するようになった。学校図書館の利用者も増えている。

《アンケート結果より》

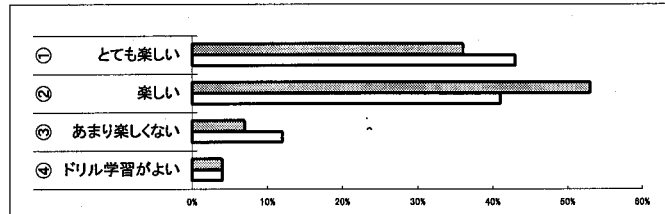
＜読書は自分にとって良いこと・プラスになることだと思いますか＞

	2 学期	1 学期
① はい	89%	80%
② いいえ	1%	3%
③ どちらとも言えない	10%	17%



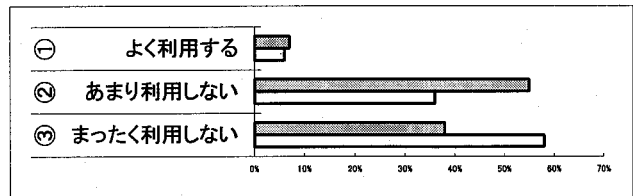
＜朝の読書についてどんな感想を持っていますか＞

	2 学期	1 学期
① とても楽しい	36%	43%
② 楽しい	53%	41%
③ あまり楽しくない	7%	12%
④ ドリル学習がよい	4%	4%



＜学校の図書館をどのくらい利用しますか＞

	2 学期	1 学期
① よく利用する	7%	6%
② あまり利用しない	55%	36%
③ まったく利用しない	38%	58%



習熟度別少人数授業について

- ・ 習熟度別少人数授業についてはほとんどの生徒が「よい」と答え、基礎・基本を身に付けるためにも効果的であると捉えている。また、習熟度別少人数授業に対しては「進度や学習内容が自分にあっている、先生への質問や友達との相談がしやすい、発表回数が増えた」など、授業に対して積極的に取り組むようになったと評価している。こうした意欲の高まりが学力向上へとつながっている。

《アンケート結果より》

＜習熟度別授業についてどう思いますか＞

とても良い・良い	数学	85%
	英語	90%

＜習熟度別授業は基礎・基本の定着に効果的だ＞

とても効果的だ・効果的だ	数学	79%
	英語	89%

<習熟度別授業でよい点は何ですか> 英語科

- | | |
|--------------|---------------------|
| ・丁寧に教えてもらえる。 | ・発表回数が増えた。 |
| ・先生に質問しやすい | ・授業の進捗や内容が自分にあっている。 |
| ・友達と相談しやすい | ・競争意欲が湧く。 |

《県標準学力テストにおける抽出生徒の変容：英語》（3年生対象）

	関心・意欲・態度		達成率		達成率の変化
	1年時	2年時	1年時	2年時	
県平均	84	⇒ 76	65	⇒ 59	- 6
S1	100	⇒ 100	88	⇒ 94	+ 6
S2	100	⇒ 100	78	⇒ 88	+ 10
S3	60	⇒ 100	52	⇒ 54	+ 2
S4	60	⇒ 60	26	⇒ 36	+ 10

*意欲が高い生徒は、達成率も高く、意欲が向上すれば、達成率も向上する傾向がある。

発展的な学習について

【英語科での実践】

- ・少人数授業や習熟度別発展コースにおいて「話す・書く」領域で発展的な課題を与えて発表等で評価することで、生徒は既習の知識を総合的に活用して学習に取り組み、達成感や成就感を得て、次の課題への意欲を持つことができた。その結果表現力がついてきている。

《県学力テストでの表現の能力の変容：英語》

	1年時	2年時
男子	65.8	⇒ 67.5
女子	70.2	⇒ 74.1
本校平均	68.1	⇒ 70.9
県平均	63.8	⇒ 65.1

<基本文を生かした対話文作成>

A : Wow! That's a very big house.

Whose house is it?

B : It's my uncle's.

A : How much is it?

B : It's 10 million dollars.

【国語科での実践】 (フロンティアスクールにおける研究の取組状況(2)参照)

2. 今後の課題

- *各教科では、基礎・基本の学習の場を設定し、実践しているので、今後は継続的な評価を行って、その定着度等を確認していく必要がある。
- *習熟度別少人数授業では他コースの進捗や学習内容が気になる生徒が多いため、教師間の連絡を密にして生徒が自分にあったコースで安心して取り組めるような学習環境をつくる必要がある。
- *習熟度別少人数授業において、今年は学期ごとのコース編成を行っているが、単元や領

- *習熟度別少人数授業のコース編成において、単元や領域ごとなど、より弾力的かつ効果的な編成の方法を工夫する必要がある。
- * フロンティアタイムにおいて、個々の生徒が満足感や達成感を持って次回の課題に取り組めるような確認テストや目標設定の仕方を工夫していく必要がある。
- * フロンティアタイムの取り組みを通して家庭学習や学習習慣の改善を目標としたが、フロンティアタイムの課題が家庭での学習のきっかけとはなったが、学習時間や学習内容の著しい改善には至っていない。
- * 「補充的な学習」・「発展的な学習」のための場の設定、学習内容や方法の工夫改善を図るとともに、資料の集積をする必要がある。
- * 評価を生かした個に応じた指導の実践場面や方法を明らかにする必要がある。
- * 「基本的な学習・生活」についてのアンケート調査を継続し、より良い習慣を身につけさせる必要がある。
- * 研究仮説をどのように具体化させて、各教科や領域での実践に結びつけていくかを更に考えていかなければならない。
- * 必修教科・選択教科・総合的な学習の時間・朝の読書・フロンティアタイム等の実践がより有機的に結びついて「学力向上」へと働いていくような研究計画が必要である。
- * 学力向上フロンティアスクール3年目ということで、地域や他地区への情報公開や研究の成果の普及を更に図る必要がある。
- * 14年度実施の学校評価（生徒・保護者・教職員）を生かした取り組み。（別紙⑥参照）

IV 学力把握のための学校としての取り組み

① 学習と生活のアンケート（7月・12月実施）

- <目的> 基本的な生活・学習の習慣に対する意識づけと、その向上。
- <実施内容> 別紙参照

② 選択教科アンケート（7月・12月実施）

- <目的> 講座選択にあたっての問題点を明らかにすると共に、生徒は選択教科をどのように捉えているのかを調査することで、今後の指導に生かす。
- <実施内容> 別紙参照

③ 習熟度別少人数授業アンケート（数学・英語：7月・12月実施）

- <目的> 習熟度別少人数授業に対する生徒の意識調査をし、今後の指導に生かす。
(コース・編成方法・学習内容・指導法等)
- <実施内容> 別紙参照

④ 「フロンティアタイム」についてのアンケート（7月・12月実施）

- <目的> フロンティアタイムに対する生徒の意識や学習状況を調査し、今後の指導に生かす。
- <実施内容> 別紙参照

⑤ 「朝の読書」についてのアンケート

<目的> 朝の読書の時間の活用や、読書についての意識調査をすることで、今後の読書指導に生かす。

<実施内容> 別紙参照

⑥ 県標準学力テストの実施（年1回 3月実施）

<目的> 1年間の学習成果を数値で客観的に捉えて生徒の変容を確認すると共に、全県との比較により、本年度の成果と来年度の課題を考察し、今後の指導に生かすため。

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

日 時	対 象	内 容
4月26日	保護者 町内小学校の教諭	・授業公開（習熟度別少人数授業他） ・保護者会 （学力向上フロンティアスクール・評価についての説明）
6月3日	他中学校（県内）	・八日市場第一中学校教諭来校 （学力向上についての本校研究の紹介）
6月12日	保護者 地域の方々	・教育ミニ集会（授業公開）
10月10日	他中学校（県外）	・日立市立多賀中学校教諭来校 （学力向上についての本校研究の紹介）
11月20日	夷隅地区小・ 中学校教諭 出張所・委員会	・学力向上推進夷隅地区会議 （各校からの研究成果の発表）
12月20日	町内小学6年生 保護者	・小学生体験入学（授業公開）
2月4日	県内フロンティア 小・中学校	・第2回千葉県学力向上推進協議会（研究発表）
2月	他中学校（県内）	・千倉町立千倉中学校へ本校研究紹介（資料の送付）
3月	夷隅地区各学校 教育委員会 等	・「研究紀要」作成・配布（予定）

*年間を通して保護者への研究の成果の普及と啓蒙活動を行っている。

（集会・保護者会・学校だより・学年便り・各種文書等）

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T. Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他（総合的な学習の時間）

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無

生活と学習についての調査

年 組 番 氏名

あなたの家での生活について聞きます。□の中に当てはまる番号を書きなさい。

1 朝は何時頃に起きますか。

- ① 6時前
- ② 6時～6時30分
- ③ 6時30分～7時
- ④ 7時～7時30分
- ⑤ 7時30分以後

2 朝食は食べますか。

- ① 必ず食べる
- ② 時々食べないことがある
- ③ 時々食べることもある
- ④ ほとんど食べない

3 朝起きてから家を出るまでどのくらいの時間がありますか。

- ① 1時間以上
- ② 30分～1時間未満
- ③ 30分～20分
- ④ 20～10分

4 家でテレビを見たりゲームをするのはどのくらいの時間ですか。

- ① しない
- ② 30分～1時間
- ③ 1時間～2時間
- ④ 2時間～3時間
- ⑤ 3時間～4時間
- ⑥ 4時間以上

5 現在、家に帰る時間は何時ですか。(塾に行っていない生徒はアのみ答えてください。)

ア 塾のない日

- ① 5時前
- ② 5時～6時

- ③ 6時～7時
- ④ 7時～8時
- ⑤ 8時以後

イ 塾のある日

- ① 5時前
- ② 5時～6時
- ③ 6時～7時
- ④ 7時～8時
- ⑤ 8時～9時
- ⑥ 9時～10時
- ⑦ 10時以後

6 夕食は食べますか。

ア 塾のない日

- ① 必ず食べる
- ② 時々食べないことがある
- ③ たまに食べることもある
- ④ ほとんど食べない

イ 塾のある日

- ① 必ず食べる
- ② 時々食べないことがある
- ③ たまに食べることもある
- ④ ほとんど食べない

7 夕食は何時に食べますか。

ア 塾のない日

- ① 5時前
- ② 5時～6時
- ③ 6時～7時
- ④ 7時～8時
- ⑤ 8時～9時

イ 塾のある日

- ① 5時前
- ② 5時～6時
- ③ 6時～7時

年 組 番 氏名

- ④ 7時～8時
- ⑤ 8時～9時
- ⑥ 9時以後

8 1週間のうち、夕食を何回くらい家で食べますか。

- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回
- ⑥ 6回
- ⑦ 7回

9 夜は何時頃に寝ますか。

- ① 9時前
- ② 9時～9時30分
- ③ 9時30分～10時
- ④ 10時～10時30分
- ⑤ 10時30分～11時
- ⑥ 11時～11時30分
- ⑦ 11時30分～12時
- ⑧ 12時以後

10 あなたは携帯電話（自分専用）を持っていますか。

- ① はい
- ② いいえ

11 「はい」と答えた人だけ解答してください。
どんな時に使いますか。

()

あなたの学習について聞きます。 の中に当てはまる番号を書きなさい。

1. 学校の授業はどの程度わかりますか。

- ① よくわかる
- ② だいたいわかる
- ③ 半分くらいわかる
- ④ わからないことが多い
- ⑤ ほとんどわからない

2. 学校での授業に集中して一生懸命に取り組むことができますか。

- ① ほとんどいつでも一生懸命に取り組める
- ② 一生懸命に取り組めることが多い
- ③ 半分くらいは一生懸命に取り組める
- ④ 一生懸命に取り組めないことが多い
- ⑤ ほとんど一生懸命に取り組めない

3. 一生懸命に取り組めないことがある人は、その理由は何ですか。

(あてはまるものすべての番号を書いてください。)

- ①眠い ②疲れている ③だるい
- ④体調が悪い(頭痛、腹痛など)
- ⑤勉強がわからない ⑥心配事がある
- ⑦ボーッとしてしまう ⑧その他

4. 授業の中でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。

(あてはまるものすべての番号を書きなさい)

- ①その場で先生にたずねる ②授業が終わってから先生にたずねる
- ③友人にたずねる ④家の人にたずねる
- ⑤塾や家庭教師の先生にたずねる ⑥自分で調べる
- ⑥ そのままにしておく

5. 今まで、あなたは家庭学習(塾はのぞく)を1日にどのくらいしていますか。

ア テスト週間ではない、普通の日

- ① ほとんどしていない

年 組 番 氏名

- ② 0分～30分
- ③ 30分～1時間
- ④ 1時間～2時間
- ⑤ 2時間以上 (時間)

イ 土曜日や日曜日

- ① ほとんどしていない
- ② 0分～30分
- ③ 30分～1時間
- ④ 1時間～2時間
- ⑤ 2時間以上 (時間)

6 ふだん家庭でしている勉強は、次のうちどれに近いですか。

(あてはまるものすべてを書いてください。)

- ① 宿題ができれば宿題をする
- ② 予習や復習をする
- ③ 興味があることについて自分で調べたり確かめたりする
- ④ 試験があればそれに備えて勉強する
- ⑤ その他 ()

7 あなたの家庭学習の問題点は何であると思いますか。

(あてはまるものすべてを書いてください。)

- ① 勉強の仕方がわからない
- ② 宿題がないと何を勉強してよいかわからない
- ③ 勉強がわからないのでやる気が出ない
- ④ 疲れて勉強できない
- ⑤ 勉強する時間がない
- ⑥ 集中できない
- ⑦ 特にない
- ⑧ その他 ()

選択教科についての調査 (選択講座名)

(教科 , 曜日 校時) 年 組 氏名 _____

<講座を選ぶまで>

① 参加する講座を決めるまでに、自分で考える時間は充分ありましたか。

- ア 十分あった イ まあまああった
ウ あまりなかった エ ほとんどなかった

② 講座を決める際に影響を受けたことは次のうちどれですか。

(幾つ答えてもよい)

- ア オリエンテーションでの先生の説明
イ 自分がとても興味を持っていたこと
ウ ふだんの授業で学習したことから興味を持っていたこと
エ 得意な教科であること
オ 苦手な教科であること
カ 好きな教科であること
キ 嫌いな教科であること
ク 友人の意見
ケ 先生との相談

③ 自分の好きな (学習したい講座) がありましたか

- ア あった イ なかった

④ なかったと答えた人に聞きます。どんな講座があったらよいですか。
自由に書いてください。

<講座を選んで>

⑤ 講座の内容に興味を持てますか

- ア 十分持てる イ まあまあ持てる
ウ あまり持てない エ ほとんど持てない

⑥ 講座の内容は難しいですか

- ア とても難しい イ すこし難しい
ウ 少しやさしい エ とてもやさしい

⑦ 講座は楽しいですか

- ア とても楽しい イ すこし楽しい
ウ あまり楽しくない エ まったく楽しくない

⑧ あなたの選んだ講座をふだんの授業と比べるとどんなところがよいですか。
(幾つ選んでもよい)

- ア 特にない
イ 自分でテーマを決めて学習することができる
ウ 自分のペースで学習することができる
エ 仲間や先生と相談しながら学習することができる
オ 普通の授業にない内容を学習できる
カ ふだんの授業で学んだことを復習できる
キ ふだんの授業でわからないところがわかるようになる、できないことができるようになる。
ク ふだんの授業で学んだことをより深く学習したり、より高い内容を学習できる。
ケ 先生に質問しやすい
コ 社会人の先生から学ぶことができる
カ その他、あったら下に書いてください。

⑨ ふだんの授業で学習したことが選択授業で役に立っていますか

- ア 大いに役立っている イ 少し役立っている
ウ あまり役立たない エ まったく役立たない

⑩ 選択授業での学習がふだんの授業で役立ちますか

- ア 大いに役立っている イ 少し役立っている
ウ あまり役立たない エ まったく役立たない

⑪ 同じ教科でも、ふだんの授業と選択授業と2つの違った授業があり、両方学習することはよいと思いますか。

- ア 両方学習したほうがとても良い
イ 両方学習するのはまあ良い
ウ ふだんの授業だけでも良い
エ 普通の授業だけが良い

⑫ 選択授業で学んで、できるようになったこと、わかるようになったこと、進歩したこと、良かったこと、などがあったら書いてください。(今学習している選択教科の授業について書いてください。裏側に書いてください。)

数学科習熟度別学習アンケート

別紙 ③-1

年 組 番 氏名

1 少人数授業について質問します。(2, 3年生だけ教えてください。)

(1) 昨年度少人数による授業を行いました。あなたは少人数授業についてどのように思いましたか。

- ① とてもよかった
- ② よかった
- ③ あまりよくなかった
- ④ よくなかった

(2) よかったところ、あまりよくなかったところを書いてください。

よかったところ

あまりよくなかったところ

2 習熟度別学習について質問します。

(1) 習熟度別学習がスタートする前、あなたは習熟度学習についてどのように思っていましたか。

別紙 ③-2

(2) 習熟度別での授業を、実際に数週間行ってみてあなたはどのような思っていますか。

- ① とてもよい
- ② よい
- ③ あまりよくない
- ④ よくない

(3) 習熟度別学習は学力向上のために効果的だと思いますか。

- ① とても効果的である
- ② 効果的である
- ③ あまり効果的でない
- ④ 効果的でない

(4) 習熟度別学習を行ってみて、あなたが今感じていることはなんですか。
次の中から強く感じている順に5つ選びなさい。

- ① ていねいに教えてもらえる
- ② ていねいな説明がほしい
- ③ 先生に質問しやすい
- ④ 先生に質問しづらい
- ⑤ 友達と相談しやすい
- ⑥ 友達と相談しにくい
- ⑦ 発言回数が増えた
- ⑧ 発言回数が減った
- ⑨ 授業の進みがある。
- ⑩ 授業の進みが速い
- ⑪ 授業の進みが遅い
- ⑫ 競争意識がわく
- ⑬ 他のコースの進度が気になる
- ⑭ 他のコースの内容が気になる
- ⑮ テスト問題が気になる

1	
2	
3	
4	
5	

その他感じていることを記入してください。

英語科 習熟度別授業についてのアンケート

年 組 番氏名

1. 英語の授業について質問します。

(1) 楽しく英語の授業に取り組んでいますか。

- ①とても楽しい ②楽しい ③あまり楽しくない ④楽しくない

理由

(2) 授業はわかりやすいですか。

- ①よくわかる ②わかる ③すこしわからない ④わからない

理由

2. 少人数授業について質問します。

(1) 1年生は現在、少人数授業を行っています。2・3年生は昨年度から少人数による授業を行いました。あなたは少人数授業についてどのように思いますか。

- ① とても良い ②良い ③あまりよくない ④よくない

(2) 良い点 あまりよくないところを書いてください。

良い点

あまりよくないところ

3. 習熟度別学習について質問をします。(2・3年生だけ教えてください)

(1) 今年は習熟度別で授業を行うと聞いてどのように感じましたか

- ① 賛成 ② 反対

理由

(2) 習熟度別で授業を行っていますが、どのように感じていますか。

- ① とてもよい ② よい ③ あまりよくない ④ よくない

理由

(3) 習熟度別学習は基礎・基本を身につけるのに効果的であると思いませんか。

- ① とても効果的である ② 効果的である
③ あまり効果的ではない ④ 効果的でない

(4) 習熟度別学習を行ってみて良いと思うことや、不安に思うことは何ですか。

次の中から強く感じている順に5つ選びなさい。

- ① ていねいに教えてもらえる ② ていねいな説明がほしい
③ 先生に質問しやすい ④ 先生に質問しづらい
⑤ 友達と相談しやすい ⑥ 友達と相談しにくい
⑦ 発言回数が増えた ⑧ 発言回数が減った
⑨ 授業の進みがあっている ⑩ 授業の進みが速い
⑪ 授業の進みが遅い ⑫ 競争意識がわく
⑬ 他のコースの進度が気になる ⑭ テスト問題が気になる
⑮ 他のコースの内容が気になる

1	
2	
3	
4	
5	

その他に感じていることを記入してください。

4. 家庭学習について質問をします。塾での学習時間は含まないで教えてください。

(1) 家庭で平均すると英語をどのくらい学習していますか。

- ① 毎日 ② 週1・2回 ③ 週3・4回 ④ 週5・6回 ⑤ やらない

(2) ①～④を選んだ人に質問をします。

英語学習にかかる学習時間はどのくらいですか。塾での学習時間は含まない

- ① ～14分 ② 15分～29分 ③ 30分～44分 ④ 45分～59分
⑤ 60分～74分 ⑥ 75分～89分 ⑦ 90分～

(3) 家庭学習の内容について選んでください。いくつ選んでもかまいません。

- ① 1日1ページ(単語・英文練習) ② Aノートの整理
③ 学校でもらった問題集 ④ 教科書の読み ⑤ 塾の宿題
⑥ 家庭で買った問題集 ⑦ その他()

第1回フロンティアタイムアンケート

年 組 番 氏名

1 4月からフロンティアタイムが始まりました。あなたは、この時間についてどう思いますか。

- ①めんどくさい
- ②基本的なことばかりでつまらない
- ③繰り返しばかりであきてしまう。
- ④自分のためになる。力がつく。

2 フロンティアタイムの準備はどのようにしていますか。

- ①毎日少しずつ
- ②直前にまとめて
- ③時々あいた時間に準備を進めた。
- ④やっていない

3 あなたはフロンティアタイムに対する自分の取り組み方や結果に満足していますか。

- ①おおいに満足している
- ②まあまあ満足している
- ③どちらともいえない
- ④あまり満足していない
- ⑤まったく満足していない

4 フロンティアタイムは自分に役立っていると思いますか。

- ①おおいに役立っている
- ②まあまあ役立っている
- ③どちらともいえない
- ④あまり役立っていない
- ⑤まったく役立っていない

5 フロンティアタイムは必要であると思いますか。

- ①必要である
- ②必要ない

理由

10 今までの生活を振り返ってみましょう。家に帰ってから寝るまでの間、あなたは何をしていますか。

<塾のある日>

7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	1:00

<塾のない日>

7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	1:00

読書についてのアンケート ※ □の中にあてはまる数字を書きなさい。

年	組	番	氏名
---	---	---	----

1 「朝の読書」が始まる前の、あなたの読書生活についておたずねします。

(1) 読書は好きでしたか。

- ① とても好き
- ② 好き
- ③ あまり好きではない
- ④ きらい

(2) その理由を教えてください。

(3) あなたは、どんな分野の本が一番好きですか。

- | | |
|----------|---------|
| ① 小説・物語 | ⑤ コミック誌 |
| ② 歴史的なもの | ⑥ ゲームの本 |
| ③ 科学的なもの | ⑦ 週刊誌 |
| ④ 雑誌 | ⑧ その他 [|

(4) 平均すると1日に何分ぐらい読書していましたか。

- | | |
|----------|--------------|
| ① 読んでいない | ③ 30分~1時間ぐらい |
| ② 30分以内 | ④ 1時間以上 |

(5) 読書することは、自分にとって良いこと・プラスになることだと思いますか。

- ① はい
- ② いいえ
- ③ どちらとも言えない

理由

2 「朝の読書」についておたずねします。

(1) 4月から行っている朝の読書について、どんな感想を持っていますか。

- ① とても楽しい
- ② 楽しい
- ③ あまり楽しくない
- ④ 今までのようなドリル学習がよい

(2) 今は10分間を読書の時間にしていますが、どうですか。

- ① 短い
- ② ちょうどいい
- ③ 長い

(3) 今読んでいる本の題名を書いてください。

[]

(4) それは、何冊目ですか。

[]

(5) 次にはどんな本を読みたいと思っていますか。

[]

3 図書館についておたずねします。

(1) 学校の図書館をどのくらい利用していますか。

- ① よく利用する
- ② あまり利用しない
- ③ 全く利用しない

(2) 上の質問に「あまり利用しない」「全く利用しない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

- ① 時間がない
- ② 借り方が分からない
- ③ 借りたい本がない
- ④ 一緒にいく友達がいない
- ⑤ その他「

」

(3) 学校以外の図書館を利用したことがありますか。それは何回ぐらいで、だれと行きましたか。(連れて行ってもらいましたか)

例 茂原市立図書館 5回ぐらい 家の人に連れて行ってもらった

[]

◎ 「朝の読書」について、こうしたほうが いいあるいはこうして欲しいという意見があったら書いてください。

平成15年度 国吉中学校教育診断

このアンケートは、みなさんの学校生活を生き生きと楽しいものにし、学校をよりよくするための資料にするものです。よく考えて、自分の思ったとおりに記入して下さい。回答の方法は、次の問いについてA～Dのあてはまる欄に○印をつけて下さい。

- A. 良くあてはまる B. ややあてはまる C. あまりあてはまらない D. まったくあてはまらない

	診 断 内 容	A	B	C	D
1	学校に行くのが楽しい。				
2	先生はわたしたちの意見をよく聞いている。				
3	授業はわかりやすく楽しい。				
4	授業で実験・観察・実習などの時間がたくさんある。				
5	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。				
6	教え方にいろいろな工夫をしている先生が多い。				
7	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。				
8	授業で、コンピュータを使っている。				
9	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。				
10	通知票の学習成績のつけ方は、納得できる。				
11	選択教科の時間は、いろいろ工夫されていて、自分の学びたいことを調べる。				
12	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生方が多い。				
13	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。				
14	担任の先生以外にも保健室や相談室などで気軽に相談することができる先生がいる。				
15	先生はいじめや校内暴力など、自分たちが困っていることについてよく対応してくれる。				
16	将来の進路や生き方について考える機会がある。				
17	学校は進路についての情報をよく知らせてくれる。				
18	授業などで、人の生き方や豊かな心のあり方について考える機会がある。				
19	学級活動では意見を発表する機会が多い。				
20	学校行事はみんなが楽しく行えるように工夫してある。				
21	生徒会活動に関心を持ち積極的に参加している。				
22	部活動に積極的に取り組んでいる。				
23	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。				
24	人権の大切について学ぶ機会が多い。				
25	環境・国際理解・福祉・ボランティアなどについて学習する機会が多い。				
26	校長先生の話は興味深くわかりやすい。				
27	先生方はお互いによく協力し合っている。				
28	地震や火災（災害）などがおこった場合、どうしたらよいかをよく知らされている。				
29	学校で使う道具や器具がこわれたときは、すぐに修理される。				
30	他の先生が授業を見学に来ることがよくある。				
31	保護者や地域の人々と一緒になって学習や作業をすることがある。				
32	授業や部活動での活動を通して、近くの学校と交流することがよくある。				
33	学校教育をよりよいものにするために、こうすればいいという意見があれば書いて下さい。				

国吉中学校教育診断

お子様の学年と性別に○をつけて下さい(1・2・3)年 (男・女)

この診断は、子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、学校経営・教育指導や組織について保護者の方々に診断をしていただき、学校改善の資料にするものです。解答の方法は、それぞれの設問の内容が、お子様や学校に当てはまるかどうか、回答欄に○印をつけて下さい。授業参観や学校行事等で来校されたおりの様子や、お子様から聞かれていることなどをもとに記入して下さい。また、判断できないこと(わからない)ことは、どの欄にも○印をつけなくても結構です。

A 良くあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

		診断内容	A	B	C	D
学校運営・経営に関するもの	1	校長の学校経営の姿勢がよく通じてくる。				
	2	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。				
	3	学校では特色ある教育活動が行われている。				
	4	学校は保護者・地域の願いに応えている。				
	5	学校は家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。				
	6	学校の生徒指導の方針に共感できる。				
	7	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。				
	8	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。				
	9	学校は、自分の将来の生きかたをよく考え、豊かな心を子どもを育てようとしている。				
	10	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。				
	11	学校は、発達段階に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。				
	12	学校は、環境、国際理解、福祉・ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。				
教育指導に関するもの	13	先生方は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。				
	14	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談に応じてくれる。				
	15	先生は子どもの間違っただ行動を厳しく指導してくれる。				
	16	先生は子どもをよく理解している。				
	17	学習の内容や進捗等を、面接や学年だよりなどによってよく知ることができる。				
	18	学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。				
	19	進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。				
	20	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。				
	21	子どもは、学校には友達が多いといっている。				
	22	子どもは、秋桜祭・体育祭・校外学習等などに積極的に参加している。				
	23	生徒会活動は活発である。				
	24	子どもは積極的に部活動に参加している。				
	25	通知票は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている。				
	26	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。				
	27	先生はこどもの能力や努力を適切・公平に評価している。				
	28	先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。				
	29	地震や台風(災害)などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている。				
	30	学校の施設・設備は学習環境面ではほぼ満足している。				
	31	学校は、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。				
	32	学校は、施設・設備を有効に利用している。				
	33	学校は、保護者が授業を参観する機会をよく設けている。				
	34	学校が保護者に出す文書・事務連絡は適切ある。				
	35	学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。				
	36	学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を多く設けている。				
	37	学校は、PTA活動が活発である。				

学校教育をよりよいものにするために、こうすればいいというご意見がありましたら、お書きください。

平成15年度 国吉中学校教育診断 (教職員用)

この診断は、学校教育活動が生徒の実態や保護者・地域の学校教育に対するニーズ等に対応し、効果的な教育活動が実施できるかどうかについて、学校自らが、教育計画の達成度を点検し、教育改善のための方策を明らかにするために行うものです。
回答の方法は、それぞれの設問の内容が、よくあてはまる場合は4、ややあてはまる場合は3、あまりあてはまらない場合は2、まったくあてはまらない場合は1を、それぞれ診断の欄に記入してください。

	診断内容	診断
教育目標	1 本校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。	
	2 本年度の教育計画の作成にあたって、教職員でよく話し合っている。	
	3 本校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	
	4 教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。	
	5 教育活動全般にわたって評価を行い、次年度の計画に生かしている。	
	6 本校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。	
各教科	7 年間の学習指導計画について、各教科でよく話しあっている。	
	8 各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選・工夫を行っている。	
	9 少人数指導やT Tの導入など指導法工夫・改善に努めている。	
	10 指導内容について、関連教科とよく話し合っている。	
	11 思考力を重視した問題解決的な学習を行っている。	
	12 生徒の実態を踏まえ、参加体験的な学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。	
	13 グループ学習を行うなど、学習形態の工夫・改善を行っている。	
	14 個人選択に基づく選択履修を実施している。	
	15 到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる。	
	16 学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。	
17 観点別評価などのあり方について、学年や教科などでよく話し合う。		
生徒生活指導	18 カウンセリングを取り入れた生徒指導を行っている。	
	19 いじめや校内暴力など生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	
	20 様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。	
	21 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	
	22 生徒指導において家庭と緊密な連携ができています。	
	23 生徒指導において関連諸機関との緊密な連携ができています。	
進路指導	24 現在の校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかどうかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある	
	25 生徒が望ましい勤労観、職業観をもつことができるよう、各学年に応じた系統的な進路指導を行っている。	
道徳	26 生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	
	27 生徒が生き生きと学ぶことができる学級づくりのためにも、学校全体で取り組んでいる。	
	28 学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	
	29 生徒会活動において、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	
	30 学校として、部活動の活性化に努力している。	
	31 生徒が生命の大切さや社会への責任を身につけることができるよう、年間指導計画に基づき、道徳の時間を中心に道徳教育を継続的にしている。	
	32 学校全体として道徳教育の目標達成のため、道徳教育と各教科での関連を図っている。	
	33 学校教育活動において、奉仕作業等の体験学習やボランティア活動が活発に行われている。	
	34 人権尊重に関する様々な問題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	
	35 人権尊重の教育において、参加体験型の学習内容・方法を取り入れ、感性を高める指導を行っている。	
	36 同和問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している	

	診断内容	診断
道徳	37 障害者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。	
	38 固定的な性別役割分担常識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している	
	39 環境・国際理解・福祉・ボランティアなど新しい教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。	
経営・組織	40 校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	
	41 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている。	
	42 学校運営に、教職員の意見が反映されている。	
	43 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	
	44 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	
	45 職員会議をはじめ各種会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	
	46 会議の結果が教育活動や学校運営に生かされている。	
	47 教職員の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	
	48 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。	
	49 本校では、教職員の服務規律への自覚が高い。	
50 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割が明確化されている。		
施設設備	51 生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある環境が整備されている。	
	52 清掃が行き届いている。	
	53 施設・設備の拡充は、長期的見通しに立ち計画されている。	
	54 施設・設備について日常的に点検や管理が行なわれている。	
教材	55 各教科の備品や教材教具が十分に活用されている。	
	56 コンピュータ等の情報機器が各教科の授業などで活用されている。	
研修	57 校内研修組織が確率し、計画的に研修が実施されている。	
	58 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	
	59 学校内で教員同士の授業を見学する機会がよくある。	
	60 教員の間で授業方法等について検討する機会を積極的にもっている。	
	61 県・市町教育委員会や教育研究所等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	
	62 研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝えられる機会が設けられている。	
文書管理	63 公文書の収受、発送、保管に対する管理が十分になされている。	
	64 学校から保護者等にあてに公文書を発行するにあたって、決裁するシステムが適切に生かされている。	
	65 指導要録等の記入・点検が年度内に適性に行なわれている。	
	66 個人情報保管の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	
家庭・地域	67 教育活動に必要な情報を積極的に収集し、生徒・保護者への周知に努めている。	
	68 保護者や地域の人々と接する機会を多く持っている。	
	69 教職員はPTA活動によく参加している。	
	70 近隣の諸学校との連携の機会を設け、教育活動に生かしている。	
学校教育をよりよくするために、こうすればいいという意見がありましたらお書き下さい。		